

第 233号

連 携 室 だ よ り



公益財団法人
北海道医療団

帯広第一病院



帯広第一病院理念・基本方針

【理 念】

地域に信頼される病院を目指し、質の高い、思いやりのある医療サービスを提供する。

【基 本 方 針】

- 1 患者の皆様の安全と権利を守ります。
- 2 地域医療機関との連携を推進します。
- 3 救急医療の充実に努めます。
- 4 研修や教育を積極的に行います。
- 5 働きがいのある職場を作ります。



緩
和ケア病棟
ピアノコンサート
演奏：長尾 崇人 様
(オカモトグループ)



今号の内容

- ・ 令和6年度肺癌早期診断プロジェクト実績報告 消化器内科部長 高橋 隆宏
令和6年度救急センター実績報告 救急センター長 土屋 朗之 (2)
- ・ 令和6年度麻酔科ペインクリニック実績報告 副院長 佐々木 英輝 / 帯広第一病院休診のご案内 (3)
- ・ 地域医療介護連携科より体制変更のご報告 地域医療介護連携科長 林 栄一 (4)

令和6年度膵癌早期診断プロジェクト実績報告

消化器内科部長 高橋 隆宏



平素より当院の診療に格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。消化器内科部長の高橋と申します。

さて、帯広市医師会と連携して実施しております「膵癌早期診断プロジェクト」におきましては、近隣の医療機関の皆様にご協力いただきながら膵癌の早期発見・早期治療に努めてまいりました。昨年度は高リスク症例として当科へご紹介いただいた11例に対し精査を施行し、うち1例が新たに膵癌と診断されました。また、プロジェクトの患者様も含めると、昨年度当院で膵癌と診断された症例は31例であり、うち11例に外科手術を、5例に化学療法を施行することができました。

これもひとえに近隣医療機関の皆様による的確なご紹介と日頃の温かいご支援の賜物であり、改めて深く感謝申し上げます。今後も本プロジェクトを通じて膵癌診療の質の向上を図り、当地域における医療の発展に貢献してまいります。引き続き、地域医療介護連携科を通じたご紹介を賜れますと幸甚に存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

令和6年4月～令和7年3月までの実績

	症例数	膵癌	手術症例	偶発的発見癌
紹介患者	11	1		
総計	11	1		

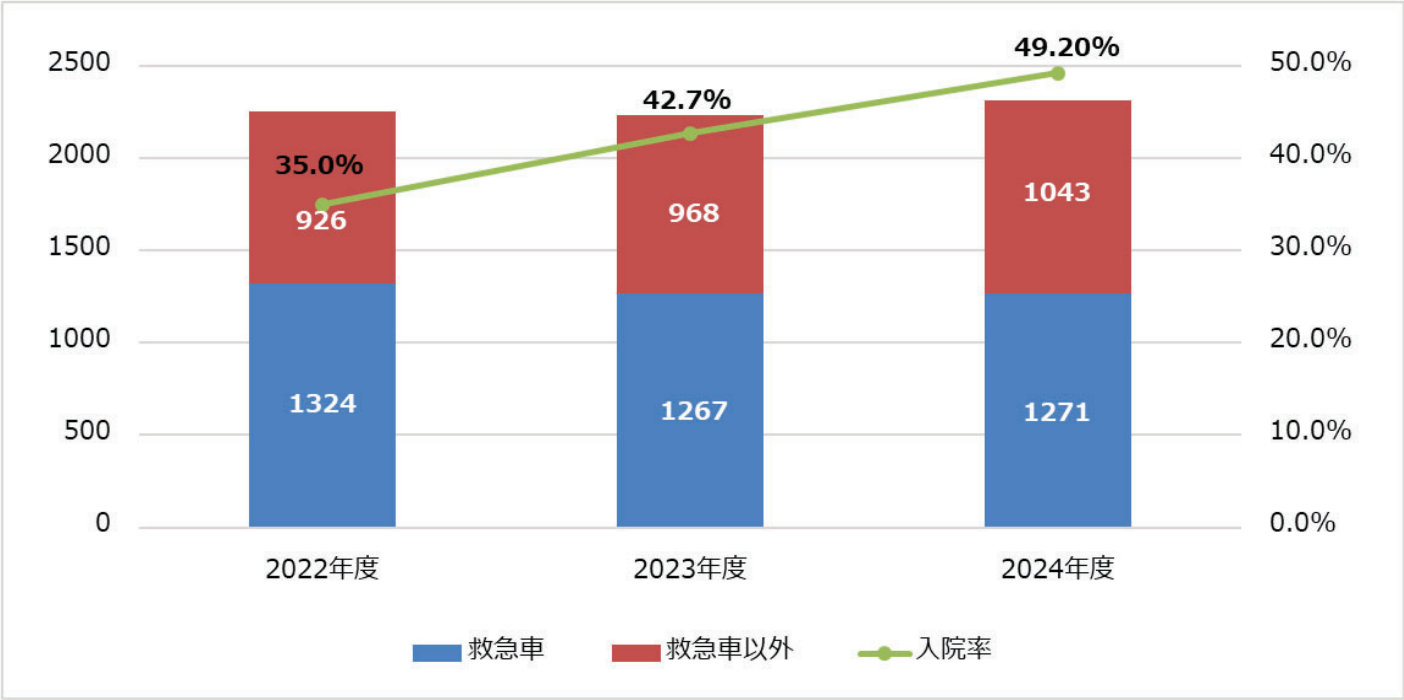
臨床病期	
I A	1
I B	7
II A	7
II B	3
III	1
IV	12

令和6年度救急センター実績報告

救急センター長 土屋 朗之



2024年度の当院救急センターの実績ですが、救急車受け入れ症例は1271件、救急車以外の症例は1043件でした。今後も地域の皆様が安心して利用できるよう、最善の医療を提供して参ります。特に腹部疾患に関しましては、緊急内視鏡や緊急手術など迅速に対応しておりますので、ご紹介のほどよろしくお願い致します。



令和6年度麻酔科ペインクリニック実績報告

副院長 佐々木 英輝



令和6年4月～令和7年3月までのペインクリニック実績報告をさせていただきます。
同データはホームページでも公開しております。

三叉神経ブロックⅤ1 (高周波熱凝固法)	1 例
肋間神経ブロック (高周波熱凝固)	1 例
胸部神経根ブロック (局所麻酔)	1 例
腰部神経根ブロック (局所麻酔)	8 例
腰部神経根ブロック (高周波熱凝固)	52 例
腰部交感神経節ブロック (高周波熱凝固)	2 例
腰椎椎間関節ブロック	3 例
脊髄神経後枝内側枝ブロック (腰部・高周波熱凝固)	2 例
仙腸関節ブロック	6 例
頸部硬膜外ブロック	2 例
トリガーポイント注射	1,226 例
星状神経節ブロック	99 例
腰部硬膜外ブロック	677 例
仙骨部硬膜外ブロック	560 例
胸部硬膜外ブロック	96 例
肩甲上神経ブロック	5 例

眼窩上神経ブロック	14 例
眼窩下神経ブロック	1 例
肋間神経ブロック	1 例
浅頸神経叢ブロック	14 例
大後頭神経ブロック	7 例
小後頭神経ブロック	1 例
腕神経叢ブロック	95 例
肩関節腔内注射	332 例
腓腓周囲注射	24 例
神経ブロック (ボトックス注射)	1 例
関節腔内注射	50 例
膝関節腔内注射	1,788 例
肩腓腓内注射	1 例
仙腸関節枝ブロック	5 例

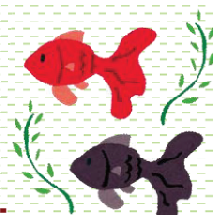
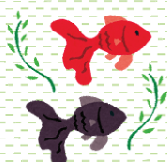
合 計

5,075 例

帯広第一病院 休診のご案内

令和7年8月15日(金)

開設記念日につき外来診療を休診とさせていただきます。



地域医療介護連携科より体制変更のご報告

地域医療介護連携科長 林 栄一

地域の先生方、関係機関の皆様には、平素より大変お世話になっております。今年度より帯広第一病院地域医療連携室が新たな体制となりましたので、ご報告させていただきます。

これまで地域医療連携室には事務員が配属。受診の予約、院内調整、診療情報提供書の管理等を担当。MSWは医療社会事業科（医療相談室）に配属。入退院支援、その他相談援助を担当しておりました。

この度、地域医療連携室と医療相談室の機能を統合し、「地域医療介護連携科」として院内組織図上も改めて位置づけられました。MSW 6 名、事務員 3 名が配属。また入退院支援部門も併せて設置しており、入退院支援看護師 2 名とともに活動しています。

国が推進する「地域包括ケアシステムの深化・推進」にあるように、介護施設等と医療機関の連携強化が求められています。昨年度当院においても「介護医療連携の会」を開催させて頂くなど、「顔の見える連携」が構築できるよう努めているところです。

これまでも当院と地域の関係機関を「つなぐ」役割を担っておりましたが、医療機関のみならず、介護施設、ケアマネジャー、その他多くの施設、機関との連携をより深めたく、この度新しい部署名に「介護」の名称を加えました。

当院はもとより、法人関連病院・施設、在宅部門を併せ持つ機能を活かし、地域の皆様との連携を図り、開設当初からの当院連携室の特徴である、小回りの利く対応ができるよう取り組んでいきたいと思えます。今後よろしくお願い致します。



地域医療介護連携科・入退院支援部門スタッフ

発行 公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院 地域医療連携室

〒080-0014 帯広市西4条南15丁目17番地3

TEL 0155-25-3121（病院代表） / 0120-558-091（連携室直通）

FAX 0155-27-0248（連携室専用） e-mail renkei@zhi.or.jp

